

第3期海洋基本計画策定以降のPT・SG

●：メインテーマとして扱うもの ○：サブテーマとして扱うもの

		第3期海洋基本計画第1部 「2. 海洋に関する施策についての基本的な方針」						
		総合的な 海洋の安全保障	産業利用の促進	海洋環境の維持・保全	科学的知見の充実	北極政策の推進	国際連携 国際協力	人材育成 理解増進
PT ・ SG	2018 (R30)	MDA（海洋状況把握）の取組を活用した国境離島の状況把握等に関するPT ：MDAの取組を活用した状況把握に関する課題整理と今後の取組の検討	●					
		北極政策に関するPT ：北極政策の「3本の柱」の相互関係を明らかにするとともに、我が国が主要国としてふさわしい立場を確保することができるよう北極政策の在り方を提言	(○)			○	●	○
		海洋プラスチックごみ対策PT ：削減のための国際連携、新素材開発などイノベーション促進、施策の基盤たる科学的知見の充実と回収活動の普及・強化について議論	(○)		●	○		○
		シーレーン諸国との海洋産業協力の強化に関する研究会 ：シーレーン沿岸国との港湾分野等における産業協力を深化させ、我が国の経済にとって重要なシーレーンの確保に寄与するための方策について検討	○	●				○
		海洋科学技術に関する研究会 ：今後20年間を見据え、海洋科学技術の方向性について議論（重点テーマ：早急に着手すべき科学技術の分野、技術展開や人材育成の推進等に関する課題）	(○)	○		●		○
	2019 (R1)	開かれ安定した海洋のための諸外国との海洋産業協力の強化に関するPT ：シーレーンSG(2018)における検討事項を引き継ぎ、シーレーン沿岸国との海洋産業協力の具体化等について検討	○	●				○
		海洋状況把握（MDA）に関するPT ：船舶動静情報の収集・集約・共有のあり方を議論し、情報の集約・共有プラットフォームの構築、外国MDA機関との連絡調整を担う機能の整備等を提言	●					
		科学技術・イノベーションに関するSG ：領海・EEZ等の利活用に関する科学技術の展開や社会啓蒙のあり方など、海洋科学技術・イノベーションの現状と課題を議論（重点テーマ：海洋科学技術全般と水産関係、洋上風力発電関係）	(○)	●		●		
		海洋保護区のさらなる拡大と管理のあり方に関するSG ：要知目標（10%）達成を念頭に「沖合海底自然環境保全地域」について国際的な動きと課題について議論、気候変動との関係について言及	(○)		●			
		持続可能な開発目標（SDG）14に関するSG ：①海洋プラスチックごみ、②IUU漁業、③小島嶼国をテーマとして、SDG14と海洋施策との関係、国益確保等の視点も含め、「日本モデル」について検討	(○)		○	○		○
	2020 (R2)	国際的な連携の確保及び国際協力の推進について検討するPT ：多様な海洋施策に共通する性質に注目し、海洋状況の認識（MDA）、海洋秩序の形成（コロナ対策）・維持（FOIP）を巡る国際協力の在り方を検討	○	○			○	●
		気候変動が海洋環境及び海洋産業に与える影響について検討するPT ：2050CNを念頭に進めるべき緩和策（洋上風力、ゼロエミ船、CCUS等）、適応策（水産業、防災）、観測・調査体制の強化、及び海洋人材の育成等について議論	(○)	○	●		○	○
		海洋産業の競争力強化に関するPT ：我が国海洋産業の国際競争力の強化を図るための課題を整理し、今後の産業のあり方やそれを実現するための方策について検討	○	●			○	○
		海洋科学技術・イノベーションについて検討するSG ：海洋科学技術・イノベーションの先進的取組や動向について俯瞰・把握し、概ね10年先を見据え今後の海洋政策の指針について検討（重点テーマ：エネルギー資源・環境、海上輸送、海洋情報）	(○)	●		●		○
	2021 (R3)	我が国周辺海域等を取り巻く情勢を踏まえた海洋の安全保障に係る海洋政策を検討するPT ：海上法執行能力の強化、海洋状況把握（MDA）の能力強化及び南シナ海が航行困難になった場合の代替シーレーンの安定確保等について検討	●				○	○
		グリーン成長分野における海洋産業の競争力強化について検討するPT ：海洋産業の競争力強化を図ることで、「経済と環境の好循環」を作っていくための方策について検討し、「2050年カーボンニュートラル」の実現等に資する取組を海洋の視点から再整理	(○)	●				
		海洋産業の国際競争力強化に向けた共通基盤と人材育成検討PT ：海運産業の更なる国際競争力強化に向けた課題の整理や解決策を検討	(○)	○				●
		持続可能な開発目標14（SDG14）の推進について検討するPT ：SDGsの他の目標との連関による波及効果や相乗効果、目標をめぐる国際的な取組（国連海洋会議等）における我が国が果たすべき役割について検討	(○)	○	○	○		○
科学技術・イノベーションについて検討するSG ：潜在力を有する海洋科学技術・イノベーションを把握するとともに、海洋科学技術の商業化に向けた環境整備等に関して現状を把握し今後の指針を検討。	(○)	○		●		○		